

デザイン学科
視覚デザインコース

Visual Design

VD

2025年度 デザイン学科 視覚デザインコース 2年次

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位	
視覚デザイン1							
	○△視覚コミュニケーション 1	植村倫明	前後	水1	142	4	
	○△キャリアデザイン 1	小坂恭子	前後	水2	142		
視覚デザイン2							
	○視覚デザインベーシック 1	山内滋晴	前後	水3／4	前422 後422.5	4	
視覚デザイン演習 1-1							
	* 前期(1-1):グラフィックA(6週)、グラフィックB(6週)、オンスクリーンメディア(6週)は必修 +他授業分野から1つ以上を選択必修					6	
(必修)	○△グラフィックデザイン A1	鈴木竜	前	火3／4	142		
	○△グラフィックデザイン B1	緒方裕子	前	月3／4	142		
	○△オンスクリーンメディア 1	井上貴寛	前	月5／6	422		
(選択必修)	○△イラストレーション 1	小沢信一	前	火1／2	142		
	○△タイポグラフィ 1	小林チエ	前	火5／6	411		
	○△写真1	中川亮	前	月1／2	431		
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週/1日間	422		
視覚デザイン演習 1-2							
	* 後期(1-2):2授業分野以上を選択必修 ※ただし「オンスクリーンメディア」と「 Figma入門」はセットでの受講となります。					6	
(選択必修)	○オンスクリーンメディア 2	井上貴寛	後	月5／6	611		
	○Figma入門	小高恭子	後	木1／2	411		
	○グラフィックデザイン A2	鈴木竜	後	火3／4	142		
	○グラフィックデザイン B2	緒方裕子	後	月3／4	141		
	○イラストレーション 2	小沢信一	後	火1／2	142		
	○タイポグラフィ2	小林チエ	後	火5／6	411		
	○写真2	中川亮	後	月1／2	431		
	○フェスタ展示	山内／助手	後	準備週/2日間	123		
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間	422		
修了制作							
							6
(必修)	○総合プロジェクト指導	鈴木竜	制	火3／4	142		
	○〃	緒方裕子	制	月3／4	142		
	○〃	小沢信一	制	火1／2	142		
	○〃	小林チエ	制	水3／4	422		
	○〃	土肥裕司	制	月1／2	431		
	○〃	井上貴寛	制	水1／2	142		
	○〃	小高恭子	制	木3／4	411		
	○制作指導	VD教員	上記授業時間外				
	○修了制作審査／講評	担当教員全員	制	制作週後/2日間	422		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2024年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○＝実務教員授業
△＝高等教育無償化申請

2025年度 デザイン学科 視覚デザインコース 3年次

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
視覚デザイン3						4
	○視覚コミュニケーション 2	植村倫明	前後制	水2	141	
	○キャリアデザイン 2	小坂恭子	前後	水1	141	
視覚デザイン4						4
	○視覚デザインベーシック 2	鈴木真梧	前後制	火3／4	141	
視覚デザイン演習 2-1						6
* 前期(2-1):「オンスクリーンメディア 3」「Figma応用」は前期セットでの受講となります +他授業分野から1つまでを選択必修						
(選択必修)	○オンスクリーンメディア 3	山内滋晴	前	火5／6	611	
	○Figma応用	小高恭子	前	月5／6	411	
	○グラフィックデザイン A3	鈴木竜	前	火1／2	141	
	○グラフィックデザイン B3	緒方裕子	前	月1／2	141	
	○イラストレーション 3	小沢信一	前	水3／4	141	
	○写真3	土肥裕司	前	月3／4	431	
	○前期合評会／ポートフォリオ講評会	担当教員全員	前	調整週/2日間	422	
視覚デザイン演習 2-2						6
* 後期(2-2):1授業分野以上を選択必修 ※Figma発展」は希望者のみ選択可。但し前期でFigma応用」を必修のこと						
(選択必修)	○グラフィックデザイン A4	鈴木竜	後制	火1／2	141	
	○グラフィックデザイン B4	緒方裕子	後制	月1／2	141	
	○イラストレーション 4	小沢信一	後制	水3／4	141	
	○写真4	土肥裕司	後制	月3／4	431	
	○オンスクリーンメディア 4	山内滋晴	後制	火5／6	611	
(任意選択)	○Figma発展	小高恭子	後制	月5／6	411	
卒業制作						6
制作指導		3VD担当教員	上記授業時間内			
卒業制作プレゼン・審査		3VD担当教員	上記授業時間内/3日間			
○卒業制作展 展示		3VD担当教員／助手	制作週後/1週間			

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2023年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○＝実務教員授業
△＝高等教育無償化申請

科目名	○△視覚デザイン1	授業分野	視覚コミュニケーション1
担当教員	植村倫明		
専門 実務経験等	専門:クリエイティブディレクター 福井県大野市出身。1991年多摩美術大学卒業後、株式会社電通入社。 アートディレクター、クリエイティブディレクターとしてさまざまな企業のブランディング、コミュニケーションの企画制作を行う。 2024年株式会社電通を退社し、合同会社雪設立。代表社員。		
授業内容 および 到達目標	加速度的に進化する時代をリードする存在として、デザイナーという存在がますます注目されています。デザインのさまざまな領域を知り、興味を高め、デザインとは何かという問いを自らたて、考えを深め、創作に繋げていく。 具体的な事例からビジュアルデザインに普遍の思考の方法を探り、デザイナーとしての基礎体力を養うことを目指します。		
授業内容詳細・進行			
目的:	ビジュアルデザインの基本概念。		
〈前期〉	1週 デザインと私 やってきたこと。やっていること。 2週 デザインの領域 あらゆるところにデザインはある。 3週 デザインの領域 デザイン業界地図。 4週 デザインのつくり方 どうやって作っているの？ 5週 ビジュアルデザインの領域 広告デザイン① グラフィック 6週 ビジュアルデザインの領域 広告デザイン② グラフィック 7週 Designers Catalog 001 デザイナー(ロールモデル)紹介 8週 Designers Catalog 002 デザイナー(ロールモデル)紹介 9週 ビジュアルデザインの領域 広告デザイン③ TVCM、Web動画 10週 ビジュアルデザインの領域 パッケージデザイン 11週 ビジュアルデザインの領域 CI、VIデザイン 12週 夏休みの課題発表 他の授業課題とのコラボレーション		
〈後期〉	1週 課題のプレゼン 2週 Creators Catalog 001 デザイナーの周りのクリエイター紹介 3週 デザインを観察する 国内外の名作・最新作(様々なアワードから) 4週 ビジュアルデザインの領域 空間デザイン 5週 ビジュアルデザインの領域 オンスクリーンメディア 6週 デザイナー研究 一人のデザイナーにフォーカスして 7週 ビジュアルデザインの領域 社会課題とデザイン 8週 デザインを実現する 企画書の書き方 9週 企画の墓場から ポツ案供養 2年終了課題発表 10週 途中経過チェック 数を出す 11週 途中経過チェック しぼる 12週 課題プレゼン		
初回持参物	筆記用具／MacBook		
準備学習	過去の広告デザイン制作物をできるだけ多く観ることで、自分のアイデアの引き出しを増やす努力をすること		
成績評価方法 および 注意事項	講義が中心。出席率、受講姿勢より評価します。 毎回、講義資料を配布します。自分の MacBookにダウンロードしてください。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン1	授業分野	キャリアデザイン1
担当教員	小坂恭子		
専門 実務経験等	専門:キャリアカウンセラー／グラフィックデザイナー 2012年 厚生労働省認定キャリア・コンサルタント能力評価試験合格 CDA キャリアインストラクター /キャリアカウンセラー 資格取得 ～2015年 東洋美術学校 キャリア支援センター勤務		
授業内容 および 到達目標	卒業後の社会に関わる自分を意識し、就職活動を行う心構えや知識を学び進路決定に繋げていきます。 (前期)卒業生もゲストに向え、現在の仕事のこと、就職活動や学生時代の話もうかがいます。 (後期)将来のための情報収集、社会に対する理解、コミュニケーションスキル等を磨き、就職活動の準備をしています。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週:オリエンテーション／働く事とは 2週:就職活動のスケジュール／卒業生の就職状況・求人情報／就職活動が上手いく人、そうでない人 1 3週:「就職活動のすべて 1.2」(就職活動とは／エントリーシート／説明会) 4週:「就職活動のすべて 3」(グループディスカッション) 5週:「就職活動のすべて 4.5」(集団面接／個人面接) 6週:卒業生講演1(イラストレーション:岡本えい) 7週:卒業生講演2予定 8週:卒業生講演3予定 9週:卒業生講演4予定 10週:必要書類／自己分析 1 11週:ポートフォリオについて／自己分析 2 12週:マイナビ登録会／就職サイトの紹介／リクルートスーツ		
〈後期〉	1週:オリエンテーション就職活動をリアルに考える 1(業界研究について) 2週:就職活動をリアルに考える 2(就職先を具体的にイメージする) 3週:履歴書の書き方 1 4週:履歴書の書き方 2 ※宿題 5週:添え状の書き方 ※宿題 6週:封筒の書き方 ※宿題 提出(履歴書 /添え状/封筒:週末まで) 7週:電話:ビジネスメール 8週:提出物返却(履歴書・添え状・封筒)の振返り 9週:ポートフォリオ 1 10週:求人票について 11週:求人票について 2 12週:ポートフォリオ 2／まとめ		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	将来、どんな仕事をしたいと考えていたのか。阿佐ヶ谷美術専門学校に入学した目的を再確認しておく。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率と提出物、及び授業態度にて評価。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン2	授業分野	視覚デザインベーシック1
担当教員	山内滋晴		
専門 実務経験等	専門：Webディレクター／グラフィックデザイナー 1987年3月阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。広告・Web・映像制作会社、J.Walter.Thompson（マーケティング事業部）など数社勤務。広告、カタログ、パッケージ、3DCG映像、WEBデザインなどの制作を担当するフリーアートディレクター。2012年度よりWebメディアの非常勤講師。2023年度より常勤講師。		
授業内容 および 到達目標	前期は校外学習や映像制作を含めた視覚デザインの基礎を学ぶ。後期は学園祭の展示を前提に「ポスター」「3Dパッケージ」などを経て、後期後半からは「グループワーク」を目的とした総合プロジェクトを実施します。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 春期課題【自己紹介】プレゼンテーション／オリエンテーション 2週 課題1「名刺デザイン」 3週 名刺デザイン指導／ポートフォリオ指導 4週 展示会見学【アドミュージアム東京】 5週 講義「カッティングシート」／講義「カッティングシートの作り方」 6週 課題2「カッティングシート」データ制作 7週 実習「カッティングシート」データ貼り付け／課題 3「公共広告ポスター」 8週 課題3「レコードジャケット」指導 9週 課題3「レコードジャケット」指導 10週 課題3「レコードジャケット」指導 11週 課題3「レコードジャケット」プレゼンテーション 12週 後期ガイダンス／展示会見学【未定】		
〈後期〉	1週 夏期課題【夏旅】プレゼンテーション／オリエンテーション 2週 課題4 講義「3Dモデリング&プリンター」／「日用品のパッケージ」出題 3週 課題4「日用品のパッケージ」指導 4週 課題4「日用品のパッケージ」指導 5週 課題4「日用品のパッケージ」指導 6週 課題4「日用品のパッケージ」プレゼンテーション／課題 5「総合プロジェクト」グループ発表 7週 課題5「総合プロジェクト」指導／企画書作成 8週 課題5「総合プロジェクト」指導／企画書作成 9週 課題5「総合プロジェクト」指導／企画書作成 10週 課題5「総合プロジェクト」指導／企画書作成 11週 課題5「総合プロジェクト」制作開始 12週 2VD「合評会」 ＊制作期（1月・4回）「総合プロジェクト」指導・制作		
初回持参物	春期課題／筆記用具／ MacBook		
準備学習	春期課題の制作		
成績評価方法 および 注意事項	出席率と学ぶ姿勢、課題の取り組み方と作品の総合評価。 視覚デザイン科2年生全体のホームルームも兼ねます。 成績評価（100点評価）：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	グラフィックデザインA1・A2
担当教員	鈴木竜		
専門 実務経験等	専門:アートディレクター／グラフィックデザイナー 2001～2010年(株)原宿サン・アド勤務 広告立案 /デザイン制作。 2010年～現在 59designを設立し、広告立案 /デザイン制作を行う。		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉基礎的なデザインの習得から高度な広告デザインの立案まで、各個人のスキルに合わせて学び、デザイナーとして社会に出ることを到達目標とします。 〈後期〉前期で学んだ基礎を元に、課題を通じてスキルアップを目指します。グラフィックデザインの現場で実査に発生しうる課題や、制作物の印刷までの過程などを学びます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週: 課題1: 出題・関連講義 2週: " : 中間指導 3週: " : 講評 4週: 課題2: 出題・関連講義 5週: " : 中間指導 6週: " : 講評		
〈後期〉	1週: 課題1: 出題・関連講義 2週: " : 中間指導 3週: " : 中間指導 4週: " : 講評 5週: 課題2: 出題・関連講義 6週: " : 中間指導 7週: " : 中間指導 8週: " : 講評 9週: 課題3: 出題・関連講義 10週: " : 中間指導 11週: " : 中間指導 12週: 講評会		
初回持参物	筆記用具／MacBook／自分の好きなデザイン(本・ポスター・グッズ等どんなモノでも OK) * 実物又は印刷して用意する。		
準備学習	世の中にある、ありとあらゆるグラフィックデザインを多く見る事。その中から自分の好きな物を見つけ、何故そのデザインが好きなのか、理由考えるようにしてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率・制作に対する姿勢・課題作品で総合的に評価します。 課題はすべて提出し、プレゼンテーションすることが必須です。 成績評価(100点評価): 100～90点: 秀／89～80点: 優／79～70点: 良／69～60点: 可／59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	〇△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	グラフィックデザインB1・B2
担当教員	緒方裕子		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン 1999年 田中一光デザイン室を退社後、フリーランスとして独立。緒方デザインルーム設立。 グラフィックデザイナー・ブックデザイナーとして装幀・エディトリ アル・ポスター・シンボルマーク・ロゴ・展覧会グラフィックなど グラフィック全般を手がける。		
授業内容 および 到達目標	グラフィックデザインBでは主に「ブック・エディトリアルデザイン」「情報伝達デザイン(インフォグラフィック)」「文化イベント広報(公共・演劇・展覧会・映画など)」「ジェネラルグラフィック(小型グラフィック)」の4本の柱を基礎講義と出題講義を経て、課題表現しながら学びます。 2年前期では基礎講義とエディトリアルデザインの基本課題と小型グラフィックの課題に取り組みます。小型グラフィックではアイデアを企画の柱にして商品として成立するデザインを考えていきます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	2年前期では基礎講義とエディトリアルデザインの基本課題と小型グラフィックの課題に取り組みます。		
1週	基礎講義2時間 課題1出題		
2週	基礎講義2時間 課題2出題		
3週	課題12指導		
4週	課題12指導		
5週	課題1講評会 課題2指導		
6週	課題2講評会 基礎講義 1時間		
〈後期〉	後期では、前期で学んだ基礎知識をもとに、「情報伝達 (インフォグラフィック) 」と「ブックデザイン、エディトリアルデザインと造本」の課題制作を中心に取り組みます。 課題は企画 から組み立て仕上がりまで丁寧にデザイン制作していきます。 後半のブックデザインでは基本の製本方法を学び、造本計画をたてて実践的に 1冊を仕上げ総合的にデザインします。		
1週	講義2時間 課題①出題		
2週	講義1時間 課題①指導 課題②出題		
3週	課題①②指導 課題3出題		
4週	課題①②指導		
5週	課題①講評会		
6週	課題②講評会 課題③出題		
7週	基礎講義 1時間 課題③指導		
8週	課題③指導		
9週	課題③指導		
10週	課題③指導 製本指導		
11週	課題③指導		
12週	課題③ 発表講評会		
初回持参物	筆記用具／A4クリアファイル(プリントを入れます。30シート以上のもの)		
準備学習	常にアンテナを張って身の回りのデザインを意識して見てください。できるだけたくさん良いモノやホンモノを見てください。自分の目		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と課題評価を合計で総合評価。 講評を受けらるよう制作スケジュールをたて、提出までの自己管理をすること。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	オンスクリーンメディア1・2
担当教員	井上貴寛		
専門 実務経験等	専門：Webディレクター 1995年 バンタンデザイン研究所 スタイリスト科卒業。広告制作会社勤務後、フリーグラフィックデザイナーを経て 2002年 EQUAL design square設立。2014年 三共印刷所 代表取締役就任。福島県福島市にある印刷工場の経営と広告、カタログ、パッケージ、WEBデザインなどの制作ディレクションを担当。		
授業内容 および 到達目標	メディアの役割を理解し、それに応じたデザインの手法を学びます。デザインは単なる「見た目の美しさ」ではなく、情報を正しく伝え、ユーザーの行動を促す役割を持っています。多様なオンスクリーンメディアにおけるデザインの考え方を探求し、実践的なプロジェクトを通じて表現力と伝達力を高めます。難しいコーディングは行わず、Photoshopをメインとしたデザインデータ制作のほか、SNS広告(映像)やバナー広告など、Webビジネスを支えるデザイナーを育てます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 自己紹介＋Webとは？＋Web基本理念 2週 Photoshopでの制作方法レクチャーと「バナー広告」出題 3週 課題1「バナー広告」チェック 4週 課題1「バナー広告」講評 5週 課題2「Webサイトをつくってみよう」出題 6週 課題2「Webサイトをつくってみよう」チェック 7週 課題2「Webサイトをつくってみよう」チェック 8週 課題2「Webサイトをつくってみよう」講評 9週 課題3「SNS広告をつくってみよう」出題 10週 課題3「SNS広告をつくってみよう」チェック 11週 課題3「SNS広告をつくってみよう」チェック 12週 課題3「SNS広告をつくってみよう」講評		
〈後期〉	後期は選択授業となり「Figma入門」とともに受講が必須となります。 2週 課題4「ASABIのランディングページをつくってみよう」出題 2週 課題4「ASABIのランディングページをつくってみよう」チェック 3週 課題4「ASABIのランディングページをつくってみよう」チェック 4週 課題4「ASABIのランディングページをつくってみよう」講評 5週 課題5「ASABIランディングページの SNS広告」出題 6週 課題5「ASABIランディングページの SNS広告」チェック 7週 課題5「ASABIランディングページの SNS広告」チェック 8週 課題5「ASABIランディングページの SNS広告」講評 9週 課題6「実践バナーデザイン」出題 10週 課題6「実践バナーデザイン」チェック 11週 課題6「実践バナーデザイン」チェック 12週 課題6「実践バナーデザイン」講評		
初回持参物	筆記用具／MacBook		
準備学習	いろんな業種のWEBサイトを沢山見ておいてください。 その中から、自分が好きだと思うデザインの WEBサイトをチェックしておいて下さい。		
成績評価方法 および 注意事項	課題に対する創作姿勢・出席率・提出物の完成度と期限 成績評価(100点評価)：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	イラストレーション1・2
担当教員	小沢信一		
専門 実務経験等	専門：イラストレーター 書籍装幀画、新聞、週刊誌、雑誌などの挿絵を多数担当。		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉作品制作を通して自分のスタイルを模索する。イラストレーションの役割を認識する。数をこなすことで向き不向きや、得意分野を見極める。 〈後期〉アイデア、表現方法、仕事のノウハウを実作業を通し学び、ビジュアル化する。各媒体に適した自分のイラストレーションを模索する。客観的に自己の作品を分析する。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週：オリエンテーション／自己紹介／私の好きな物」出題 2週：ワークショップ／合評「私の好きな物」／「風景を描く」出題 3週：ワークショップ／合評「風景を描く」／「私の好きな人」出題 4週：ワークショップ／合評「私の好きな人」／「私の好きなこと」出題 5週：ワークショップ／合評「私の好きなこと」／「私の好きな本」出題 6週：ワークショップ／合評「私の好きな本」／「50HEADS」出題 7週：ワークショップ／「50HEADS」進行チェック 8週：ワークショップ／「50HEADS」合評／「12枚組ポストカード」出題 9週：ワークショップ／「12枚組ポストカード」進行チェック 10週：ワークショップ／「12枚組ポストカード」合評／「文章を読み絵を描く」出題 11週：ワークショップ／「文章を読み絵を描く」進行チェック 12週：「文章を読み絵を描く」合評（ゲスト有り）／「夏期休暇自己申告課題」出題		
〈後期〉	1週：「夏期休暇自己申告課題」講評／「雑誌表紙用イラストレーションを描く」出題 2週：ワークショップ／「雑誌表紙用イラストレーションを描く」進行チェック 3週：ワークショップ／「雑誌表紙用イラストレーションを描く」合評／「雑誌カット用イラストレーションを描く」出題 4週：ワークショップ／「雑誌カット用イラストレーションを描く」進行チェック 5週：ワークショップ／「雑誌カット用イラストレーションを描く」合評 6週：ワークショップ／「雑誌カット用イラストレーションを描く」合評／「オリジナルグッズを制作する」出題 7週：ワークショップ／「オリジナルグッズを制作する」企画プレゼンテーション 8週：ワークショップ／「オリジナルグッズを制作する」進行チェック 9週：ワークショップ／「オリジナルグッズを制作する」合評（ゲスト有り）／「井の頭自然文化園プロジェクト」出題 10週：「井の頭自然文化園プロジェクト」現地取材 11週：ワークショップ／「井の頭自然文化園プロジェクト」進行チェック 12週：「井の頭自然文化園プロジェクト」合評（ゲスト有り）		
初回持参物	自分の代表作品（データではなく出力して用意すること）／筆記用具		
準備学習	毎回出題する課題内容の下調べ、アイデア出しをしておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	課題に対する制作姿勢、完成度、制作点数、出席で評価。毎回のワークショップ（時間内に沢山描く）をこなすことで次第にスキルアップしていきますので遅刻、欠席は厳禁。 成績評価（100点評価）：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	タイポグラフィ1・2
担当教員	小林チエ		
専門 実務経験等	専門：グラフィックデザイン／美術家 (株)クリエイティブオフィス ヘッドエイク勤務(カタログ制作・広告制作など)を経て、雑誌編集デザイン・ギャラリー関連の広報デザインなどを行う。 2010年よりタイポグラフィセミナー運営。京都造形芸術大学通信学部スクーリング授業担当。		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉どのデザイン分野でも文字情報をどう処理するかが重要です。この授業では組版アプリケーションInDesignを使って文字をどう組むかを学びます。文字組版に必要な文字と書体に関する知識は講義で学び、実践課題として本文組みを中心とした小冊子を作ります。 〈後期〉前期で学んだことと、さらに高度な組版技術・文字に関する知識を学んで80頁以上の書籍を作ります。文章をよく理解し、内容にあった組版仕様を考えて本文を組み、カバー・表紙を含めた全体をデザインし、出力・製本して1冊の本を完成させます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	隔週(予定)で、タイプフェイスデザイナー・研究家などをゲストとして招聘。 1週 オリエンテーション／書体と活字・日本語組版についての講義／課題出題 2週 書体についての講義／文字とデザインのワークショップ／ InDesign実習 3週 〃 4週 〃 5週 〃 6週 〃 7週 〃 8週 〃 9週 課題制作・指導 10週 〃 11週 〃 12週 講評・総括		
〈後期〉	1週 オリエンテーション／課題出題・編集と素材整理について／復習小テスト 2週 書体・組版についての講義／ブックデザインワークショップ／ InDesign実習 3週 〃 4週 〃 5週 〃 6週 〃 7週 校正実習 8週 書体・組版についての講義／ブックデザインワークショップ／ InDesign実習 9週 課題制作・指導 10週 〃 11週 〃 12週 講評・総括		
初回持参物	文字スケール／USBメモリ又はポータブル HDD 定規／ノート／筆記用具／電卓(携帯電話不可)／資料を整理するためのクリアファイル(すべて毎回持参)		
準備学習	特になし		
成績評価方法 および 注意事項	出席率、宿題と最終課題(組版成果物)によって評価。授業の中での作業が主となるので、遅刻・欠席は厳禁。 質問をどんどんすること。 成績評価(100点評価)：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△視覚デザイン演習1-1・1-2	授業分野	写真1・2
担当教員	中川亮		
専門 実務経験等	専門：フォトグラファー 阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。 集英社スタジオ勤務を経て、独立。雑誌・広告・ Webなど幅広い媒体で人物撮影と商品撮影を行う。		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉様々なメディアにおいて画像データはあふれており、情報の発信者にとって「イメージを理解し、発想する力」は必須と言えます。この力を磨くために写真はとても重要です。イメージングの基礎からスタジオを使った撮影の初歩まで学びます。 〈後期〉前期中はイメージングのトレーニングを行いました。後期は社会の中で機能する写真を学びます。広告形式の写真撮影や校内での写真展を行い、他人に見せる写真を意識します。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 出題：課題1「mini Book」小さな写真集を写真と文字で構成する／カメラの使い方復習 2週 講義：「写真の中のメッセージとは」「レンズの話」／課題中間チェック 3週 講義：「mini Bookの作り方」／課題中間チェック 4週 出題：課題2「お茶の雑誌広告」広告の写真を撮る／課題中間チェック 5週 実習：「光の話」／課題中間チェック／課題 1データ提出 6週 実習：スタジオライティング／角版写真 7週 講評：課題1「mini Book」 8週 講義：デジタルテクニック／課題中間チェック 9週 実習：課題中間チェック 10週 講義：課題中間チェック 11週 実習：課題中間チェック 12週 講評：課題2「お茶の雑誌広告」		
〈後期〉	1週 出題：課題3「フォトグラファー視点の広告ポスター展」広告の写真を撮る 2週 実習：アイディア・ラフ出し 3週 出題：課題4「around20-二十才の肖像」／スタジオライセンス中級講習 4週 講義：モデル撮影／課題中間チェック 5週 実習：課題中間チェック 6週 実習：課題中間チェック 7週 講評：課題3「フォトグラファー視点の広告ポスター展」 8週 実習：写真表現の色々 9週 実習：プリント作業／課題中間チェック 10週 講義：写真展という表現の場／プリント作業／課題中間チェック 11週 実習：展示準備 12週 講評：課題4「around20-二十才の肖像」		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	出席と作品の提出が必須。授業の理解度と作品の内容によって評価します。 成績評価(100点評価)：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習1-2	授業分野	Figma入門
担当教員	小高恭子		
専門 実務経験等	専門: WEBデザイナー 2006年～複数のweb会社でマークアップエンジニアとして業務に従事		
授業内容 および 到達目標	スマートデバイス向けのコンテンツデザインにおける UIの概念とプロセスについて学習し、仮想アプリを企画し UIのデザインを提案しましょう。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週: Figmaの必須初期設定、各部名称について学ぶ 2週: Figmaの「制約」機能を学ぶ 3週: Figmaの「オートレイアウト」機能を学ぶ 4週: Figmaの「コンポーネント」の基礎を学ぶ ① 5週: Figmaの「コンポーネント」の基礎を学ぶ ② 6週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ① 7週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ② 8週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ③ 9週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ④ 10週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ⑤ 11週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ⑥ 12週: 「ショッピングモールの webサイトを作ろう」 ⑦		
初回持参物	MacBookのストレージの空き容量を 30GB以上確保してきてください ・筆記具・メモ帳・スマホ		
準備学習	自分が普段使いしているスマホの CSSピクセル数(Androidの場合はdip)を把握しておいてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席重視(4回以上欠席は履修不可)・大課題完成度重視・授業に取り組む姿勢 成績評価(100点評価): 100～90点: 秀／89～80点: 優／79～70点: 良／69～60点: 可／59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	修了制作	授業分野	総合プロジェクト
担当教員	視覚デザインコース 2年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	視覚デザインコース 2年次の修了制作。設定された共通するテーマに沿って、企画・制作・プレゼンテーションを総合して行うプログラム。調査力／考える力／分析力／企画力／発想力／表現力などを学ぶ。		
授業内容詳細・進行			
	テーマ／詳細は後期 7週目に発表。 ◎分析とクリエイティブ 提示されたテーマを分析・調査し「何を、何の為に、誰に、どのように」情報伝達することが必要かを考え、視覚コミュニケーションの提案を行う。情報の取捨選択、「考えるちから」、企画力、発想力、表現力を学ぶ。 ◎社会に役立つ／つながるデザイン(問題解決・社会貢献)／デザインの力の模索 社会のなかにおいて「デザイン」でなにが出来るのか、これからのデザインの力とはなにか、を模索する。 ◎グループワークとコミュニケーション 選択している授業分野を横断したグループでの共同作業を通して、コミュニケーション能力の向上を目標とする。今まで個人で学習し修得した力を共同作業のなかでどのように発揮するか。 複数の人間の意見をまとめてひとつの表現に結びつけることの困難さと、大切さを学ぶ。 ブレインストーミング、制作の中での役割分担、チームワークを経験する。 4～5名でグループを組む。		
初回持参物	MacBook／筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	企画・制作プロセス、作品とプレゼンテーション、合評会での取り組みなどによる総合評価		
	成績評価(100点評価): 100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		

科目名	視覚デザイン3	授業分野	視覚コミュニケーション2
担当教員	植村倫明		
専門 実務経験等	専門：クリエイティブディレクター 福井県大野市出身。1991年多摩美術大学卒業後、株式会社電通入社。 アートディレクター、クリエイティブディレクターとしてさまざまな企業のブランディング、コミュニケーションの企画制作を行う。 2024年株式会社電通を退社し、合同会社雪設立。代表社員。		
授業内容 および 到達目標	加速度的に進化する時代をリードする存在として、デザイナーという存在がますます注目されています。 デザインのさまざまな領域を知り、興味を高め、デザインとは何か？という問いを自らたて、考えを深め、創作に繋げていく。 具体的な事例からビジュアルデザインに普遍の思考の方法を探り、デザイナーとしての基礎体力を養うことを目指します。		
授業内容詳細・進行			
目的：	2年間のすべての学びを深める。デザインで生きる心構え		
〈前期〉	1週 デザインと私 僕のやってきたこと。今やっていること。 2週 社会課題とデザイン デザインの向かう先。 3週 課題チェック① テーマを見つける 個別にチェック 4週 デザインの拡張 広告デザイン① グラフィック 5週 デザインの拡張 広告デザイン② TVCM、動画 6週 課題チェック② テーマを決める。個別にチェック 7週 デザインの拡張 広告デザイン③ オンスクリーン 8週 デザインの拡張 広告デザイン④ 統合キャンペーン 9週 デザインの拡張 パッケージデザイン 10週 デザインの拡張 CI、VIデザイン 11週 デザインを実現する 企画書の書き方 12週 課題チェック③ 全体コンセプト立案 個別にチェック		
〈後期〉	1週 課題チェック④ 全体コンセプト立案＋デザイン設計 2週 デザイン観察 国内外の最新作 3週 Designers Catalog 001 デザイナー（ロールモデル）紹介 4週 課題チェック⑤ デザイン設計 5週 デザインの鍛え方 過去から学ぶ（巨人の肩に乗る） 6週 すべての仕事はクリエイティブディレクションである 古川裕也さんの書籍より 7週 課題チェック⑥ デザイン制作 8週 Designers Catalog 002 デザイナー（ロールモデル）紹介 9週 デザインとデザイナーの未来 10週 課題チェック⑦ 企画書にまとめる 11週 課題プレゼン 12週 フィードバックと年間総評		
〈制作期〉	4週 課題提出。		
初回持参物	筆記用具／MacBook		
準備学習	外に出て、街にあふれる様々な情報の、それぞれの目的を理解する習慣を身につけること		
成績評価方法 および 注意事項	講義が中心。出席率、受講姿勢より評価します。 毎回、講義資料を配布します。自分の MacBookにダウンロードしてください。 成績評価（100点評価）：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン3	授業分野	キャリアデザイン2
担当教員	小坂恭子		
専門 実務経験等	専門:キャリアカウンセラー／グラフィックデザイナー 2012年、厚生労働省認定キャリア・コンサルタント能力評価試験合格 CDA キャリアインストラクター /キャリアカウンセラー 資格取得 ～2015年 東洋美術学校 キャリア支援センター勤務		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉就職活動のスキルを身につける。2年時に学んだ就職活動の応用、具体的活動へのアプローチをしていきます。ポートフォリオの強化、自己PRと履歴書の制作や実践的な模擬面接をし、筆記試験対策も行います。 〈後期〉ビジネスマナーを含めながら、自己PR、文章力の強化、面接試験の強化を行ってゆきます。 〈制作期〉卒業後の進路が決まっていない学生のサポート授業です。就職活動はしていても内定が取れない学生はもちろん、就職か進学か、それともフリーランスを目指すか、個人面談形式で話し合っていきます。就職希望の学生には、個人のペースに合わせ指導や応募書類の添削を毎週メール等で行っていきます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 卒業生の就職状況・求人情報／就職活動のスケジュール確認／ポートフォリオ(春休みに提出した気になったこと) 2週 ポートフォリオ:他校のも見てみよう / ポートフォリオ PDFデータ:※宿題 提出〆切 GW明けの授業日 3週 電話の掛け方／ビジネスメール ※宿題 提出週末 4週 必要書類／添え状、封筒、履歴書の復習／就職活動が上手くいく人、そうでない人(宿題:メールの気になったこと) 5週 筆記試験／面接の三大質問(宿題:ポートフォリオ PDFデータの気になったこと) 6週 卒業生講演:岡本えい(イラストレーター) 7週 見やすいエントリーシート／履歴書(経歴欄)復習 8週 面接マナー1 第一印象について／リモート面接 9週 面接マナー2 個人、集団面接／就活をしていく上で困ること 10週 集団模擬面接会 11週 集団模擬面接振り返り／面接マナー 個人面談／就職活動をしていくにあたり 12週 内定・内定辞退について／ 自己紹介書 / +Pの書類提出形 ※宿題 提出夏休み明け／ポートフォリオ ※宿題 提出夏休み前		
〈後期〉	1週 前期の振り返り／個人面接・集団面接復習／リアリティショックについて 2週 文章能力UP①理解する力「要約」 3週 文章能力UP②伝える力:書く力／自己紹介書について 4週 文章能力UP③伝える力:聞く力 5週 就職活動をしていくにあたり 2・面接への意識／自己 PR強化 6週 言葉の置き換え／自己肯定感について 7週 ビジネスマナー①敬語 1 8週 ビジネスマナー②敬語 2 9週 ビジネスマナー③メールと電話／名刺の交換など 10週 ビジネスマナー④配慮 11週 ビジネスマナー⑤／ ES・面接の復習 12週 ビジネスマナー⑥／まとめ		
〈制作期〉	1週 制作期の授業進行の説明 最初の個人面談(対面)で今後の希望などを聴取する。 2週以降 個人面談(リモート) 面談時間は1人15～20分。個々により内容は異なる。 内容によっては面談の延長や、日を改めて面接の練習なども行います。		
初回持参物	(前期初回) 2年時のキャリアデザインで添削返却された履歴書、添え状、封筒。筆記用具。 (後期初回)筆記用具 (制作期)筆記用具・スケジュール帳		
準備学習	(前期)希望する業種、職種の確定。受けたい会社の企業研究。 (後期) 内定がでていない学生は自己分析等の再確認。履歴書、ポートフォリオの強化と希望する会社の企業研究など。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率と提出物、及び授業態度にて評価。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン4	授業分野	視覚デザインベーシック2
担当教員	鈴木真梧		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン／アーティスト 2000年、magnet designを設立。シンボルマーク・ロゴ、カタログ、ポスター、ブックデザイン、空間デザイン等、更にデザイン書籍への執筆等グラフィックデザインを幅広く行う。またアーティストとしても、マスとミニをテーマに社会と個人のフラクタルな関係を考察した作品を発表。個展2021年「スイート・デモクラシー」アーツ千代田331、2007年「手のひらを太陽に」プロジェクトスペースKANDADA、グループ展:2001年「Neo Tokyo」シドニー現代美術館ほか多数。1997～2008年まで、アーツ千代田331の前身となったコマンドNの初期メンバー。展覧会の企画、運営、デザインなどを手がけた。		
授業内容 および 到達目標	前期ではプレゼンテーションを再考をし必要な情報を精査・選別します。また既存のデザインの問題点を発見し、デザインの可能性と機能性を探っていきます。また卒展へ向けて自分を伝えるためのポートフォリオを作成し、卒制を作るだけでなくセルフプロデュースも考えます。また後期～制作期では、卒展へ向けてのサイン計画や ZINEの制作なども行います。就活や卒制に専念する時期ですが自由で柔軟な発想力を大切にしていきます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週:オリエンテーション／課題1[3分間プレゼン]の出題と説明 3VDスタッフの自己紹介 2週:個人面談&課題1のアイデアチェック 3週:個人面談&課題1のアイデアチェック、課題2[私が推す映画]の出題 4週:課題1[3分間プレゼン]のプレゼンテーション 5週:課題2[私が推す映画]のラフ案チェック 6週:課題3[+P]課題説明&参考作品閲覧 7週:課題2[私が推す映画]の制作チェック 8週:課題2[私が推す映画]のプレゼンテーション 9週:課題3[+P]の企画チェック 10週:課題3[+P]の制作チェック 11週:課題3[+P]の制作チェック 12週:課題3[+P]のプレゼンテーション 卒展メインビジュアル(企画チェック) (※前期13週目にポートフォリオ合評会を予定しています)		
〈後期〉	1週:卒展メインビジュアル(最終制作チェック) 2週:課題3[+P]進行チェック、制作指導 3週:校外授業(美術館見学など)事前リサーチ提出 4週:個人面談 5週:個人面談 6週:課題3[+P]の制作チェック 7週:課題3[+P]の最終チェック サイン計画班、VD ZINEプロジェクト班の選出 8週:課題3[+P]プレゼンテーション&講評 9週:A4 ファイル持参 [各班ミーティング] 10週:A5 作品ファイルチェック [各班ミーティング] 11週:A5 作品ファイルチェック [各班ミーティング] 12週:A5 作品ファイルチェック [各班ミーティング] 課題3[+ P]提出		
〈制作期〉	1週:A5 作品ファイル提出 [各班ミーティング] 2～4週:卒展へ向けての準備期間[各班ミーティング]個人指導など * 授業内容とスケジュールは課題の進行状況によって変更することがあります。 * スケジュールに課外授業やゲスト講師による特別講義が入る場合があります。		
初回持参物	記用具、MacBookなど。初回授業に関する詳細は事前にメールにて連絡予定。		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と課題提出・発表内容などにより評価します。制作指導を受けずに課題を進行し提出しても、評価の対象にならないことがありますので注意してください。遅刻・欠席の際は必ず連絡をすること。プレゼン日は特に欠席不可。 成績評価(100点評価):100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1	授業分野	オンスクリーンメディア3・4
担当教員	山内滋晴(前期・後期担当)		
専門 実務経験等	専門: Webディレクター 1987年3月阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。広告・Web・映像制作会社、J.Walter.Thompson(マーケティング事業部)など数社勤務。広告、カタログ、パッケージ、3DCG映像、WEBデザインなどの制作を担当するフリーアートディレクター。		
授業内容 および 到達目標	従来の印刷物やテレビ、ラジオといったメディアとは異なり、インタラクティブ性が高く、ユーザーが情報を選択したり、操作したりすることができるデジタルメディアや、コンピュータメディア、映像メディアを主体とした作品制作を基軸とする。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週: 課題1 AfterEffect基本操作と「データの可視化」出題 2週: 課題1「データの可視化」チェック 3週: 課題1「データの可視化」チェック 4週: 課題1「データの可視化」講評 5週: 課題2「データの可視化」の映像化 出題 6週: 課題2「データの可視化」の映像化 チェック 7週: 課題2「データの可視化」の映像化 チェック 8週: 課題2「データの可視化」の映像化 講評 9週: 課題3 CLを想定した「デジタルサイネージ」出題 10週: 課題3 CLを想定した「デジタルサイネージ」チェック 11週: 課題3 CLを想定した「デジタルサイネージ」チェック 12週: 課題3 CLを想定した「デジタルサイネージ」講評		
〈後期〉	卒業制作の指導を中心に進めます。制作途中で 2回の審査を受けます。 最終的なゴール、卒業制作展までを見据えて計画的に進行する。 展示で人に見ていただく作品となりますので、アサビで学んだこと、自分の研究テーマの集大成とし、社会に繋がっていくような企画、制作を目指して取り組んでください。 1週: 卒業制作企画書の提出。本審査から卒業制作展までの流れを説明。 2週: 卒業制作の指導 3週: 〃 4週: 〃 5週: 〃 6週: 卒業制作中間審査 7週: 卒業制作の指導 8週: 〃 9週: 〃 10週: 〃 11週: 〃 12週: 卒業制作本審査		
準備学習	AfterEffectをインストールをしておいてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席重視(4回以上欠席は履修不可)・大課題完成度重視・授業に取り組む姿勢 成績評価(100点評価): 100～90点: 秀／89～80点: 優／79～70点: 良／69～60点: 可／59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-2	授業分野	Figma応用
担当教員	小高恭子(後期担当)		
専門 実務経験等	専門: WEBデザイナー 2006年~ 複数のweb会社でマークアップエンジニアとして業務に従事		
授業内容 および 到達目標	〈後期〉コードの書き方に関する決まりごとに沿ってホームページ構築ができるようHTMLとCSSの記述の仕方を学びましょう。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週: WordPressでポートフォリオをつくろう 2週: Figmaでアプリやwebページに使える部品づくりをしよう① 3週: Figmaでアプリやwebページに使える部品づくりをしよう② 4週: Figmaでアプリやwebページに使える部品づくりをしよう③ 5週: Figmaでアプリやwebページに使える部品づくりをしよう④ 6週: Figmaでアプリやwebページに使える部品づくりをしよう⑤ 7週: 学んだコンポーネントを組み合わせてアプリを作ってみよう① 8週: 学んだコンポーネントを組み合わせてアプリを作ってみよう② 9週: 学んだコンポーネントを組み合わせてアプリを作ってみよう③ 10週: 学んだコンポーネントを組み合わせてアプリを作ってみよう④ 11週: 学んだコンポーネントを組み合わせてアプリを作ってみよう⑤ 12週: 学んだコンポーネントを組み合わせてアプリを作ってみよう⑥		
〈後期〉	1週: Figmaでパララックス① 2週: Figmaでパララックス② 3週: Figmaでパララックス③ 4週: Figmaでパララックス④ 5週: FigmaでECサイトをつくる① 6週: FigmaでECサイトをつくる② 7週: FigmaでECサイトをつくる③ 8週: FigmaでECサイトをつくる④ 9週: Figmaのカンプファイルをwebサイトとして使う方法① 10週: Figmaのカンプファイルをwebサイトとして使う方法② 11週: Figmaのカンプファイルをwebサイトとして使う方法③ 12週: Figmaのカンプファイルをwebサイトとして使う方法④		
〈制作期〉	卒業制作のweb制作フォロー(4週間)		
初回持参物	MacBookのストレージの空き容量を 30GB以上確保してきてください ・筆記具・メモ帳・スマホ		
準備学習	Visual Studio Code(Microsoft社のソースコードエディタ)のインストールをしておいてください。 https://code.visualstudio.com/download		
成績評価方法 および 注意事項	出席重視(4回以上欠席は履修不可)・大課題完成度重視・授業に取り組む姿勢 成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	グラフィックデザインA3・A4
担当教員	鈴木竜		
専門 実務経験等	専門:アートディレクター／グラフィックデザイナー 2001～2010年(株)原宿サン・アド勤務 広告立案 /デザイン制作。 2010年～現在 59designを設立し、広告立案 /デザイン制作を行う。		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉2年次までの基礎的なグラフィックデザインから、より実践的な演習を行います。広告表現や企業ブランディングに必要な問題発見力／解決力、企画力、プレゼンテーション能力などを学び、就職を見据えたポートフォリオの作成を行います。また自身の観点から、独自のマーケットを見つけ、クライアント(発注者)→グラフィックデザイナー(受注者)の受動構造に留まらないより能動的な新たなデザイナー像を探ります。〈後期〉これまで学んだ発見力／解決力／企画力／表現力／プレゼンテーション力を卒業制作に展開させます。自分のテーマを掘り下げ、企画から制作、展示までを計画的におこない、社会へのプレゼンテーションとしての実りある卒業制作をめざします。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週:課題1:出題・関連講義 2週: " : 中間指導 3週: " : 中間指導 4週: " : 講評 5週:課題2:出題・関連講義 6週: " : 中間指導 7週: " : 中間指導 8週: " : 講評 9週:課題3:出題・関連講義 10週: " : 中間指導 11週: " : 中間指導 12週:講評会		
〈後期〉	1週:卒業制作 企画案提出・チェック 2週:卒業制作:指導 3週: " : 指導 4週: " : 指導 5週: " : 指導 6週: " : 中間プレゼン 7週: " : 指導 8週: " : 指導 9週: " : 指導 10週: " : 指導 11週: " : 指導 12週: " : 本審査		
初回持参物	筆記用具／ MacBook		
準備学習	世の中にある、ありとあらゆるグラフィックデザインを多く見る。その中から自分の好きな物を見つけ、何故そのデザインが好きなのか、理由考えるようにしてください。		
成績評価方法 および 注意事項	出席率・制作に対する姿勢・課題作品で総合的に評価します。 課題はすべて提出し、プレゼンテーションすることが必須です。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	グラフィックデザインB3・B4
担当教員	緒方裕子		
専門 実務経験等	専門：グラフィックデザイン 1999年 田中一光デザイン室を退社後、フリーランスとして独立。緒方デザインルーム設立。 グラフィックデザイナー・ブックデザイナーとして装幀・エディトリアル・ポスター・シンボルマーク・ロゴ・展覧会グラフィックなど グラフィック全般を手がける。		
授業内容 および 到達目標	2年次に学んだ基礎知識をもとに、「文化イベント広報公共・演劇・展覧会・映画など」「ジェネラルグラフィック(小型グラフィック)」と「エディトリアルデザイン」の課題制作を中心に取り組みます。課題は既存のデザインの調査・分析を行い企画を組み立て、実践的にデザイン制作していきます。常にアンテナを張り良いものを見て卒展の企画につなげてください。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 基礎講義2時間 課題①出題 2週 課題①指導 3週 課題①指導 4週 課題①指導 課題②出題 5週 課題①②指導 6週 課題①②指導 7週 課題①発表 講評会 課題②指導 8週 課題②指導 9週 課題②指導 10週 課題②指導 11週 課題②指導 12週 課題②発表 講評会		
〈後期〉	卒業制作の指導を中心に進めます。制作途中で 2回の審査を受けます。 最終的なゴール、卒業制作展までを見据えて計画的に進行する。 展示で人に見ていただく作品となりますので、アサビで学んだこと、自分の研究テーマの集大成とし、社会に繋がっていくような企画、制作を目指して取り組んでください。 1週 卒業制作企画書の提出。本審査から卒業制作展までの流れを説明。 2週 卒業制作の指導 3週 〃 4週 〃 5週 〃 6週 卒業制作中間審査 7週 卒業制作の指導 8週 〃 9週 〃 10週 〃 11週 〃 12週 卒業制作本審査		
初回持参物	筆記用具／A4のクリアファイル 30シート以上のもの 2冊		
準備学習	現在行われている美術館、博物館で展覧会を鑑賞してきてください。その際に展覧会のチラシを集めてくること。		
成績評価方法 および 注意事項	出席状況と課題評価を合計で総合評価。 講評を受けらるよう制作スケジュールをたて、提出までの自己管理をすること。 成績評価(100点評価)：100～90点：秀／89～80点：優／79～70点：良／69～60点：可／59点以下：不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	イラストレーション3・4
担当教員	小沢信一		
専門 実務経験等	専門: イラストレーター 書籍装幀画、新聞、週刊誌、雑誌などの挿絵を多数担当。		
授業内容 および 到達目標	自分だけのスタイルを探す。 絵を描くことの楽しさを再認識する。 イラストレーターとして仕事への対応力を身につける。 卒業制作を視野に入れ、多様なジャンルから自分に適したものを見つけ出す。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週: オリエンテーション／自己紹介／「私の履歴書」出題 2週: ワークショップ／「私の履歴書」合評／「風景を描く」出題 3週: ワークショップ／「風景を描く」合評／「私の好きな 1曲」出題 4週: ワークショップ／「私の好きな 1曲」合評／「私の家族」出題 5週: ワークショップ／「私の家族」合評／「私の好きな映画」出題 6週: ワークショップ／「私の好きな映画」合評／「ポートフォリオ制作」出題 7週: ワークショップ／「ポートフォリオ制作」合評／「ニュースを描く」出題 8週: ワークショップ／「ニュースを描く」合評／「Tシャツ制作」出題 9週: ワークショップ／「Tシャツ制作」合評／「アメリカン・タイム」出題 10週: ワークショップ／「アメリカン・タイム」進行チェック 11週: ワークショップ／「アメリカン・タイム」進行チェック 12週: 「アメリカン・タイム」合評(ゲスト有り)／「夏期休暇自己申告課題」の出題		
〈後期〉	1週: 「夏期休暇自己申告課題」合評／進行チェック 2週: 進行チェック 3週: 進行チェック 4週: 進行チェック 5週: 進行チェック 6週: 卒制中間プレゼンテーション 7週: 進行チェック 8週: 進行チェック 9週: 進行チェック 10週: 進行チェック 11週: 進行チェック 12週: 卒制審査		
初回持参物	自分の代表作品またはポートフォリオ／筆記道具		
準備学習	毎回出題する課題内容の下調べ、アイデア出しをしておくこと。		
成績評価方法 および 注意事項	課題に対する制作姿勢、作品の完成度、提出期限の厳守、出席で評価。 毎回授業のはじめにワークショップ(制作作業)があります。 成績評価(100点評価): 100～90点: 秀／89～80点: 優／79～70点: 良／69～60点: 可／59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	視覚デザイン演習2-1・2-2	授業分野	写真3・4
担当教員	土肥裕司		
専門 実務経験等	専門: フォトグラファー 阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。 集英社スタジオ勤務を経て、1990年頃より、雑誌や広告など、幅広い被写体を相手に活躍。 写真関連の書籍「もっと写真構図のルールブック」執筆なども担当する。		
授業内容 および 到達目標	〈前期〉2年で進めてきた、「メッセージを伝える」授業から、3年ではより「表現」していくことを重点に学ぶ。これは、作家的な作品だけではなく、広告や雑誌など商業的な写真の中でも重要。前期は広告制作の課題と表現の実験的な課題を行い、表現のためのデジタルワークの講義も行う。 〈後期〉いくつかのワークショップと講義を行いつつ、卒業制作に向け作品を仕上げていきます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週: 授業説明、課題1説明、講義「解像度について」 2週: 人物撮影ワークショップ1、講義「デジタル調整(基本)」 3週: 人物撮影ワークショップ2、講義「RAW現像」、課題1進行チェック 4週: 人物撮影ワークショップ3、課題1進行チェック 5週: 講義4「表現メディアについて」、課題1進行チェック 6週: 課題1講評、課題2説明 7週: 表現手法ワークショップ1、講義「トーンカーブを使いこなす」 8週: 表現手法ワークショップ2、講義「範囲指定と合成」、課題2進行チェック 9週: 表現手法ワークショップ3、講義「デジタル表現」課題2進行チェック 10週: 課題2進行チェック 11週: 課題2進行チェック 12週: 課題2講評、夏期休暇課題説明		
〈後期〉	1週: 夏期休暇課題(卒業制作案)の発表とチェック 2週: 卒業制作指導 3週: 卒業制作指導 4週: 卒業制作指導 5週: 卒業制作指導 6週: 中間審査 7週: 卒業制作指導 8週: 卒業制作指導 9週: 卒業制作指導、講義「プリント用紙の違いと設定」 10週: 卒業制作指導 11週: 卒業制作指導 12週: 本審査		
初回持参物	過去の写真作品(データ or プリント)／筆記用具		
準備学習	写真展見学。好きな写真家、気になる作品などをなるべく多く見て、感じる事。		
成績評価方法 および 注意事項	制作姿勢、完成度、出席、授業態度で評価します。 毎回全員でディスカッションしながら授業を進めます。 成績評価(100点評価): 100～90点: 秀／89～80点: 優／79～70点: 良／69～60点: 可／59点以下: 不可		

VD 対面とオンライン併用での実施

科目名	卒業制作	授業分野	
担当教員	視覚デザインコース 3年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	3年間の学習の成果を、社会に通用する作品へと完成させることが授業の目的です。 担当教員の指導を受けながら、より高度な企画、より完成度の高い制作にし展示へと繋げます。 卒業制作展示は学生生活の集大成であると共に、社会へ向けての初めてのプレゼンテーションです。		
授業内容詳細・進行			
	後期に履修した専攻で卒制を行い、主にその専攻の担当教員が指導を行います。 テーマの着目からはじまり、企画の提出、中間プレゼンテーション、本審査、展示審査の全行程が卒業制作となります。 プレゼンテーション及び各審査は担当教員と VD科専任教員が審査します。 結果として作品が完成すれば良いわけではなく、テーマに関わる研究が重要であると同時に、デザインとして社会に通用するレベルに到達する必要があります。 また、卒業制作展の展示に関しても考慮します。 1週:卒業制作の指導 2週:再審査・展示審査 3週:卒業制作の指導 4週:卒業制作の指導		
初回持参物	それぞれの授業において必要なもの。		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	担当教員と綿密なコミュニケーションをとり、十分なチェックを受けながら企画・制作・展示計画を進めなければなりません。 十分な指導を受けずに自己判断による結果だけを提出しても卒業制作としては認められません。 プレゼンテーションや審査の日の遅刻・欠席は、如何なる理由であっても認められません。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀／89～80点:優／79～70点:良／69～60点:可／59点以下:不可		